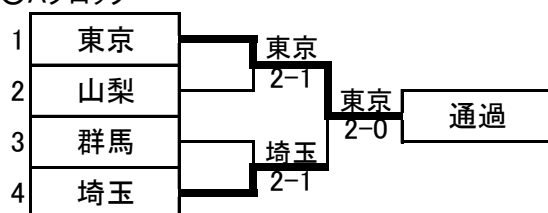


組み合わせ【成年男子の部】

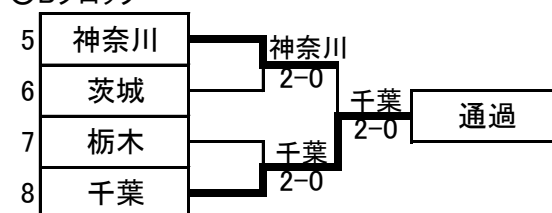
都県	監督	選手		都県	監督	選手	
東京	ロンギ 正幸	1	菊池 玄吾	神奈川	酒井 祐樹	1	喜多 文明
		2	ロンギ 正幸			2	酒井 祐樹
山梨	保坂 充彦	1	遠藤 賢	茨城	平岡 伸雄	1	平岡 伸雄
		2	保坂 充彦			2	川崎 光
群馬	山口 優治	1	松田 隼十	栃木	鈴木 佳太	1	鈴木 佳太
		2	山口 優治			2	大橋 可宏
埼玉	湯原 雅人	1	湯原 雅人	千葉	小山 裕史	1	小山 裕史
		2	大城 光			2	蜂谷 翔希

●8月18日(土)《1日目》

○Aブロック



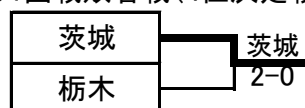
○Bブロック



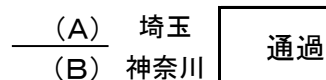
○1回戦敗者戦(4位決定戦)



○1回戦敗者戦(4位決定戦)



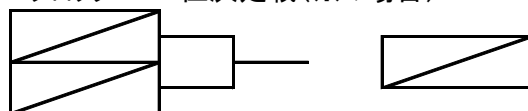
▲ 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者は、ブロック2位決定



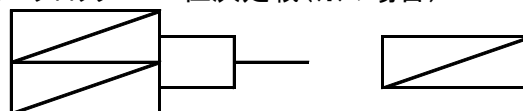
※ 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者が2回戦でも勝者(ブロック1位)となった場合は、そのブロックの反対サイドの1回戦勝者とブロック2～3位決定戦を行う(2日目)

●8月19日(日)《2日目》

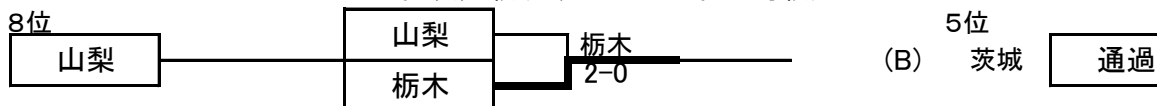
○Aブロック2～3位決定戦(※の場合)



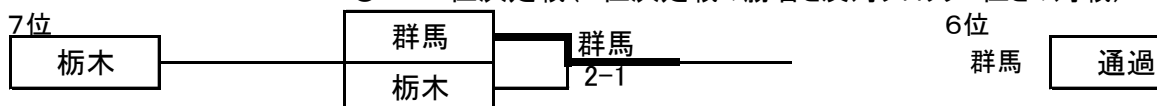
○Bブロック2～3位決定戦(※の場合)



○8位決定戦(A、Bブロック4位の対戦)



○6～7位決定戦(8位決定戦の勝者と反対ブロック3位との対戦)



試合記録

成年男子1次予選

	東京都	2対1	山梨県		群馬県	1対2	埼玉県
S1	菊池 玄吾	84	遠藤 賢	S1	松田 隼十	86	湯原 雅人
S2	ロンギ 正幸	48	保坂 充彦	S2	山口 優治	68	大城 光
D	菊池 玄吾	83	遠藤 賢	D	松田 隼十	68	湯原 雅人
	ロンギ 正幸		保坂 充彦		山口 優治		大城 光
	神奈川県	2対0	茨城県		栃木県	0対2	千葉県
S1	喜多 文明	85	平岡 伸雄	S1	鈴木 佳太	48	小山 裕史
S2	酒井 祐樹	82	川崎 光	S2	大橋 可宏	38	蜂谷 翔希
D	喜多 文明	打切り	平岡 伸雄	D	鈴木 佳太	打切り	小山 裕史
	酒井 祐樹		川崎 光		大橋 可宏		蜂谷 翔希

成年男子ブロック2R

	東京都	2対0	埼玉県		神奈川県	0対2	千葉県
S1	菊池 玄吾	85	湯原 雅人	S1	喜多 文明	48	小山 裕史
S2	ロンギ 正幸	86	大城 光	S2	酒井 祐樹	(6)89	蜂谷 翔希
D	菊池 玄吾	打切り	湯原 雅人	D	喜多 文明	打切り	小山 裕史
	ロンギ 正幸		大城 光		酒井 祐樹		蜂谷 翔希

成年男子1回戦敗者戦

	山梨県	1対2	群馬県		茨城県	2対0	栃木県
S1	遠藤 賢	58	松田 隼十	S1	平岡 伸雄	85	鈴木 佳太
S2	保坂 充彦	84	山口 優治	S2	川崎 光	81	大橋 可宏
D	遠藤 賢	79	松田 隼十	D	平岡 伸雄	打切り	鈴木 佳太
	保坂 充彦		山口 優治		川崎 光		大橋 可宏

成年男子ブロック2～3位決定戦

		対			対	
S1				S1		
S2				S2		
D				D		

成年男子8位決定戦

成年男子6～7位決定戦

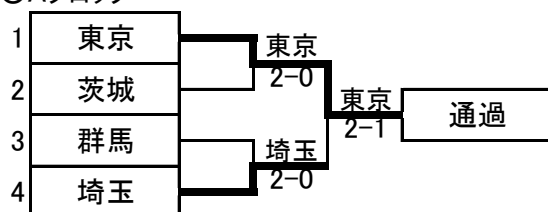
	山梨県	0対2	栃木県		群馬県	2対1	栃木県
S1	遠藤 賢	58	鈴木 佳太	S1	松田 隼十	48	鈴木 佳太
S2	保坂 充彦	58	大橋 可宏	S2	山口 優治	85	大橋 可宏
D	遠藤 賢	打切り	鈴木 佳太	D	松田 隼十	86	鈴木 佳太
	保坂 充彦		大橋 可宏		山口 優治		大橋 可宏

組み合わせ【成年女子の部】

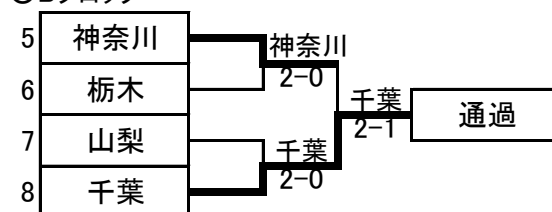
都県	監督	選手	都県	監督	選手
東京	大竹 志歩	1 桑田 寛子	神奈川	守屋 友里加	1 水沼 茉莉
		2 大竹 志歩			2 守屋 友里加
茨城	阿久津 朋	1 沼尻 泰代	栃木	斉藤 美幸	1 斉藤 美幸
		2 阿久津 朋			2 阿部 美貴
群馬	中嶋 紗有里	1 中嶋 紗有里	山梨	田村 実里	1 田村 実里
		2 品田 由衣			2 牛山友実子
埼玉	鍋谷 昌栄	1 鍋谷 昌栄	千葉	涌井 真耶	1 涌井 真耶
		2 多田 奈央			2 磯貝 綾子

●8月18日(土)《1日目》

○Aブロック



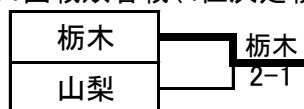
○Bブロック



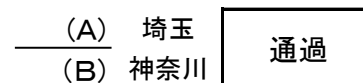
○1回戦敗者戦(4位決定戦)



○1回戦敗者戦(4位決定戦)



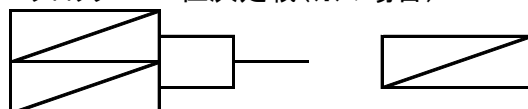
▲ 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者は、ブロック2位決定



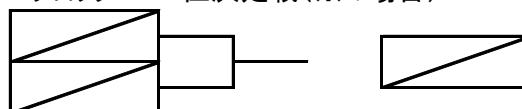
※ 1回戦敗者戦の勝者と対戦した1回戦の勝者が2回戦でも勝者(ブロック1位)となった場合は、そのブロックの反対サイドの1回戦勝者とブロック2～3位決定戦を行う(2日目)

●8月19日(日)《2日目》

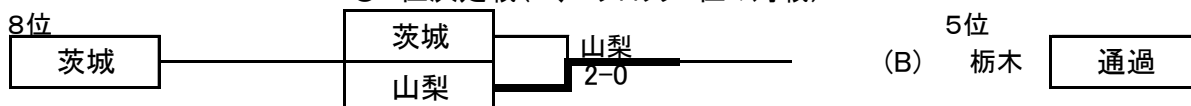
○Aブロック2～3位決定戦(※の場合)



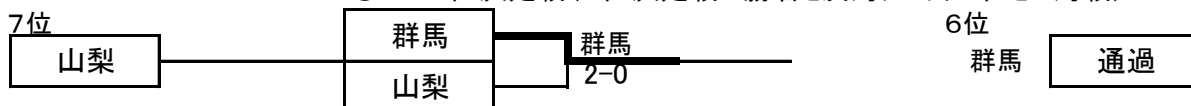
○Bブロック2～3位決定戦(※の場合)



○8位決定戦(A、Bブロック4位の対戦)



○6～7位決定戦(8位決定戦の勝者と反対ブロック3位との対戦)



試合記録

成年女子1次予選

	東京都	2対0	茨城県		群馬県	0対2	埼玉県
S1	桑田 寛子	86	沼尻 泰代	S1	中嶋 紗有里	48	鍋谷 昌栄
S2	大竹 志歩	81	阿久津 朋	S2	品田由衣	68	多田 奈央
D	桑田 寛子	打切り	沼尻 泰代	D	中嶋 紗有里	打切り	鍋谷 昌栄
	大竹 志歩		阿久津 朋		品田由衣		多田 奈央
	神奈川県	2対0	栃木県		山梨県	0対2	千葉県
S1	水沼 茉莉	83	斉藤 美幸	S1	田村 実里	28	涌井 真耶
S2	守屋 友里加	82	阿部 美貴	S2	牛山友実子	68	磯貝 綾子
D	水沼 茉莉	打切り	斉藤 美幸	D	田村 実里	打切り	涌井 真耶
	守屋 友里加		阿部 美貴		牛山友実子		磯貝 綾子

成年女子ブロック2R

	東京都	2対1	埼玉県		神奈川県	1対2	千葉県
S1	桑田 寛子	83	鍋谷 昌栄	S1	水沼 茉莉	58	涌井 真耶
S2	大竹 志歩	48	多田 奈央	S2	守屋 友里加	82	磯貝 綾子
D	桑田 寛子	80	鍋谷 昌栄	D	水沼 茉莉	(3)89	涌井 真耶
	大竹 志歩		多田 奈央		守屋 友里加		磯貝 綾子

成年女子1回戦敗者戦

	茨城県	1対2	群馬県		栃木県	2対1	山梨県
S1	沼尻 泰代	85	中嶋 紗有里	S1	斉藤 美幸	79	田村 実里
S2	阿久津 朋	28	品田由衣	S2	阿部 美貴	84	牛山友実子
D	沼尻 泰代	38	中嶋 紗有里	D	斉藤 美幸	86	田村 実里
	阿久津 朋		品田由衣		阿部 美貴		牛山友実子

成年女子ブロック2～3位決定戦

		対			対	
S1				S1		
S2				S2		
D				D		

成年女子8位決定戦

成年女子6～7位決定戦

	茨城県	0対2	山梨県		群馬県	2対0	山梨県
S1	沼尻 泰代	(3)89	田村 実里	S1	中嶋 紗有里	81	田村 実里
S2	阿久津 朋	68	牛山友実子	S2	品田由衣	82	牛山友実子
D	沼尻 泰代	打切り	田村 実里	D	中嶋 紗有里	打切り	田村 実里
	阿久津 朋		牛山友実子		品田由衣		牛山友実子

栃木県テニス協会
 総監督：阿久津定之

1. 大会概要

- ・日程 平成24年8月17日(金)～8月19日(日)
- ・会場 有明テニスの森テニスコート
- ・主催 公益財団法人日本体育協会・東京都・関東テニス協会
- ・主管 東京都・東京都体育協会・東京都テニス協会
江東区・江東区体育協会
- ・後援 文部科学省

2. 試合方法

- ・男女共にダブルス1ポイント、シングルス2ポイント、合計3ポイントによる対抗戦。
- ・試合は、各種別とも都道府県対抗のトーナメント方式で行う。
- ・試合はすべて8ゲームズプロセット、セミアドバンテージ方式とする。
- ・試合は1回戦より勝敗決定後に打ち切りとする。

3. 参加監督・選手・トレーナー

総監督：阿久津定之

1. 成年男子 監督：阿久津定之 選手：鈴木佳太 大橋可宏

2. 成年女子 監督：渡辺千鶴 選手：斎藤美幸 阿部美貴

トレーナー：海老澤重一

4. 試合結果

成年男子 1回戦 対 千葉県：8月18日(土)

	栃木県	0 -	千葉県
S 1	鈴木佳太	4 - 8	小山裕史
s 2	大橋可宏	3 - 8	蜂谷翔希
D	鈴木佳太 大橋可宏	打ち切り	小山裕史 蜂谷翔希

成年男子 1回戦敗者戦 対 茨城県：8月18日(土)

	栃木県	0 -	茨城県
S 1	鈴木佳太	5 - 8	平岡伸雄
S 2	大橋可宏	1 - 8	川崎 光
D	鈴木佳太 大橋可宏	打ち切り	平岡伸雄 川崎 光

成年男子 ブロック 8 位決定戦 対 山梨県：8月19日(日)

	栃木県	- 0	山梨県
S 1	鈴木佳太	8 - 5	遠藤 賢
S 2	大橋可宏	8 - 5	保坂充彦
D	鈴木佳太 大橋可宏	打ち切り	遠藤 賢 保坂充彦

成年男子 6 ~ 7 位決定戦 対 群馬県：8月19日(日)

	栃木県	1 -	群馬県
S 1	鈴木佳太	8 - 4	松田隼十
S 2	大橋可宏	5 - 8	山口優治
D	鈴木佳太 大橋可宏	6 - 8	松田隼十 山口優治

成年女子 1 回戦 対 神奈川県：8月18日(土)

	栃木県	0 -	神奈川県
S 1	斎藤美幸	3 - 8	水沼 茉莉
S 2	阿部美貴	2 - 8	守屋友里加
D	斎藤美幸 阿部美貴	打ち切り	水沼茉莉 守屋友里加

成年女子 1 回戦敗者戦 対 山梨県：8月18日(土)

	栃木県	- 1	山梨県
S 1	斎藤美幸	7 - 9	田村 実里
S 2	阿部美貴	8 - 4	牛山友実子
D	斎藤美幸 阿部美貴	8 - 6	田村 実里 牛山友実子

5. 所感

今年の関東ブロック大会はテニスのメッカである有明テニスの森で行われました。今年は猛暑日が多く大会前日の気温も35度まで上がり、とても選手にとっては過激な大会でした。栃木県の選手は成年男子シングルス1が鈴木佳太選手、大学4年生で過去3回国体に出場し、いずれも本国体に出場しています。シングルス2の大橋可宏選手は大学2年生、成年男子で出場するのは今回が初めての選手です。二人は同じ法政大学で高校も同じ足利工業大学附属高校で先輩後輩です。成年女子のシングルス1は昨年も出場した東洋英和女学院大学4年生の斎藤美幸選手、シングルス2の阿部美貴選手は上武大学3年生で今回初出場です。

成年男子初戦の相手は第2シードの千葉県、鈴木選手の対戦相手はJOP24位の小山選手、大橋選手の対戦相手はJOP50位の蜂谷選手、共にプロの選手でどこまでやれるか楽しみな一戦でした。結果は健闘しましたが、鈴木選手が4 - 8、大橋選手が3 - 8とストレートで敗れました。

続く1回戦敗者戦では、茨城県との対戦で本国体に出場するには、重要な一戦でした。鈴木選手の対戦相手は、ベテランの平岡選手、立ち上がりいきなりブレークされると一機に5ゲーム連取され平岡選手のペースで試合が展開されましたが、鈴木選手もそこから自分のテニスを取り戻し4ゲーム連取し4 - 5、続く10ゲームも相手のサーブを0 - 40と追い込みブレークチャンスでしたが、スマッシュミスからキープされ、4 - 6とされると再びお互いキープ、最後まで踏ん張りましたが前半のリードが響き5 - 8で敗れ、大橋選手も最後まで粘りましたが、自分のリズムがつかめず、1 - 8で敗れ厳しい状況に追い込まれ、後2試合勝たなければ本国体に出場することが出来なくなりました。

大会2日目、8位決定戦は山梨県との対戦、鈴木選手の対戦相手は同じ大学4年生の遠藤選手で過去に対戦したこともあり、お互いプレースタイルは良く知っている対戦相手でした。5 - 5まではお互い1ブレーク、11ゲームをブレークすると一機に連取し、8 - 5で勝負を決めました。大橋選手も保坂選手に同じスコア5 - 8で勝利し、2 - 0で最後の望みに繋がりました。

6位～7位決定戦は群馬県との対戦、鈴木選手の対戦相手は、JOP54位の松田プロです。鈴木選手は、持ち味の粘り強いストロークで相手のミスを誘い5 - 2とリードしダブルフォルトでブレークされ5 - 4と追い上げられたが、そこから再び3ゲーム連取し8 - 4で勝利し大金星を挙げました。大橋選手も山口選手に善戦しましたが、山口選手のネットプレーがさえ、ドロップボレーでポイントを奪われ5 - 8で敗れダブルス勝負となりました。鈴木選手のサーブで始まり、お互いキープし1 - 1で大橋選手がブレークされ1 - 2とされたが、ブレークバックすると3ゲーム連取し、5 - 2とリードし波に乗りかけたが相手も簡単には崩れず、大橋選手のサーブをブレークすると流れが相手に傾き4ゲーム連取され4 - 6、そこからお互いキープし5 - 7、鈴木選手がサーブで15 - 40と3度マッチポイント奪われましたがサービスエースで挽回、サーブをキープし6 - 7、続く相手のサーブをセミアドで相手のセカンドサーブ、追い付くチャンスだったがセンターにサービスエースを取られゲームセット、最後まで良く頑張ったが、本国体の出場の切符を手にする事は出来ませんでした。

成年女子の1回戦対戦相手は第2シードの神奈川県で苦戦を強いられ斎藤選手は3 - 8、阿部選手は2 - 8で共に敗れ、1回戦敗者戦にまわった。対戦相手は、千葉県に敗れた山梨県でした。斎藤選手は序盤リードを許し、後半追い上げ7 - 8でマッチポイントを相手に握られながらも攻め続けポイント重ねたが、最後はアプローチショットがわずかにベースラインを越え惜しくも7 - 9で敗れた。阿部選手はストロークがさえ8 - 4で勝利しダブルス勝負となった。栃木のサーブから始まったが、いきなりブレークされると、相手も硬くなり、ボレーミスでブレークバック、その後お互いキープし2 - 2となった。そこから、相手のポーチが決まりだし、逆に栃木のチャンスボールのミスが目立ち2ブレーク、5ゲーム連取され2 - 6、そこからロブをませ、相手の反撃をかわし流れが傾いた。相手のサーブもストレートリターンでエースを取り2ブレーク、6ゲーム連取して8 - 6で勝利しブロック3位となった。これで、山梨県がBブロック4位となり、反対のAブロック4位の茨城県と対戦し、山梨県が勝てば栃木は本国体出場となるが、茨城県が勝利した場

合は6位決定戦で茨城県と対戦しなければならなかった。結果は2 - 0で山梨県が勝利し、この時点で栃木は5位となり、本国体出場の切符を手にする事が出来た。

本国体には今年も男女揃って出場することは出来ませんでした。成年女子は4年振りに本国体出場を決めていただき、選手、監督、トレーナーの海老澤先生には心から感謝をします。また、栃木から応援に来ていただいた方々にお礼を申し上げます。本国体に行っても、栃木県、そして関東の代表として、実力を十分発揮できるよう頑張りたいと思います。最後に、関東テニス協会をはじめ、東京都テニス協会の役員の方々には大変お世話になりありがとうございました。また、栃木県教育委員会、栃木県体育協会にはいろいろご支援、ご指導いただきありがとうございました。今後とも栃木県のテニス競技発展のため頑張ってまいりますので、ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。